

最近の韓国・中国・台湾経済情勢について

[今週のチェック・ワード]

[私見 フィリピンのドゥテルテ大統領について]

私たちは、普通、「将来の予測がしにくいこと。」を嫌います。

これをもう少し、ビジネス的な視点から、そして逆説的にコメントすれば、「多くの他人が将来を予測しにくいという中であって、自らだけは、将来の予測が出来る状況を好む。」

とも言えます。

そうした意味で見れば、一般的には、米国の次期大統領に選出されたトランプ氏は予測しにくい人となりましょう。

そして、そのトランプ氏と類似する形で、その言動や真意が予測しにくい人の中に、フィリピンのトランプとも称される、「ドゥテルテ大統領」があげられるかと思えます。

私にとってみれば、ドゥテルテ大統領は、フィリピンの国益を意識しつつ、「統制的な考え方をする人物であり、また、一方で人に統制されることは強く嫌う人物」
とも映ります。

一方、こうした背景には、

「彼の意識の根底には弱者を守る意識が強い。」

ようにも思われ、これらのことを具現化する上で、

「パワーバランスを上手に使い、自らの実利を意識し、相対的優位性を作りつつ、具現化していく傾向にあり、deal by deal, case by case、是々非々で、言動を言ってくる人物」
と思われまます。

その、ロドリゴ・ロア・ドゥテルテ大統領をもう一度しっかりと眺めると、彼はフィリピンの政治家であり、現在、フィリピンの第16代大統領ということになります。

ドゥテルテ大統領は、ダバオ市長を7期務めたレイテ島の出身であり、父親は法律家、母は学校教師という、比較的しっかりとした、厳しい家庭に育ち幼少時にダバオに移ったとされています。

即ち、決して頭の悪い人でもなく、粗暴な人でもないはずなのです。

そして、ドゥテルテ大統領の大学時代の恩師はフィリピン共産党の創設者ジョマ・シソン氏であり、そのシソン先生からは大統領選での支持も受け、また、共産党員を閣僚に起用する案を掲げるなど、共産党との協力にも積極的であります。

こうしたこともあり、大統領就任後は共産党のゲリラとの間で無期限の停戦合意にも成功しています。

大学卒業後はダバオの検察官として約10年働いた後、政界に進出し、今日に至っています。

また、母方の祖父が華人で呂(Roa)という名字を名乗っていました。

こうしたこともあり、ドゥテルテ大統領自身は、中国語についても、

「聴いていて理解できる。」

とも言っています。

こうしたことから、潜在的にはやはり、共産中国に近く、また、共産党復活の匂いを持つインド

ネシアのジョコ大統領とも水面下での連携を取る可能性は否めないとも見られ、日本にとっては、やや、慎重にその言動を分析する必要のある人物であるとも思われます。

こうした一方、ドゥテルテ大統領は熱烈なロシアのプーチン・ファンを自任し、「プーチン大統領と友達になりたい。」

と会談を熱望していましたが、そのプーチン大統領との会談が先般、実現した模様です。

そして、インターファクス通信などによると、ドゥテルテ大統領はプーチン大統領の「指導者としての資質」を激賞したとされており、その一方で、欧米陣営について「小国を攻撃、威嚇しようとしている。」

と述べ、米国を例に挙げて非難したとも伝えられています。

プーチン大統領に対する姿勢は本音なのか、米国を意識したパワーゲームの中での言動なのかは読みきれませんが、ドゥテルテ大統領は今後もしたたかにこうした言動を繰り返して来ると思います。

しっかりとその真意を見極めながら、今後の影響を予測していきたいと思います。

【台湾・中国・その他】

—今週の台湾・中国—

[台湾]

台湾と日本双方の窓口機関である「亜東関係協会」と「交流協会」は、第41回台日貿易経済会議で「台日製品安全協力覚書」と「台日言語教育交流覚書」にそれぞれ調印している。

民主進歩党政権下、日台間の今後更なる経済関係の拡大が期待されている。

但し、交流協会の大橋光夫会長が、台湾側に福島など5県で生産・製造された食品に対する輸入規制を解除するよう呼びかけたが、会場外には数十人の抗議者が集まり、放射能に汚染された食品はいらないと訴えるなど、福島問題に関しては台湾の世論はまだ厳しい。

今後の動向をフォローしたい。

[中国]

米国の次期大統領となるドナルド・トランプ氏が、環太平洋経済連携協定（TPP）離脱方針を明言したことで、中国本土は「アジア太平洋自由貿易圏」（FTAAP）交渉など国際貿易のルール策定で主導権を取る動きに出る可能性が出てきている。

世界第1位の貿易規模を誇る中国本土が、環太平洋地域の貿易と投資に関する主導権を取りに来る動きを示すことはある意味では必然とも言える。

そうした点を踏まえても、トランプ新政権がTPP離脱の姿勢を本当に示すのか、或いは場合によっては、米中が連携して新たな貿易と投資の新協定を構築するような動きに出てくるのか否かといった点、注視したい。

—今週のニュース項目（見出し）—

1. **カンボジア情勢について**
2. **フィリピン情勢について**
3. **インドネシア情勢について**
4. **インド情勢について**
5. **タイ情勢について**

6. ベトナム情勢について

—今週のニュース—

1. カンボジア情勢について

1970年代にカンボジアのポル・ポト政権下で行われた虐殺や強制移住などを巡り、人道に対する罪などに問われた元最高幹部2人の上級審で、プノンペンの特別法廷は1審に続き、死刑がないカンボジアでは最高刑となる「終身刑」とする判決を言い渡した。

東南アジアでは、世界第二次世界大戦後、こうした事件が発生した歴史があり、カンボジアのみならず、他国への影響もあるかもしれない。

何れにしても、今後の動向をフォローしたい。

2. フィリピン情勢について

マニラの米国大使館近くの路上で、ごみ箱に簡易型の爆発装置が入っているのが見つかるという事件が発生した。

この通報を受けた警察が爆発前に処理し、けが人はなかったと伝えられている。

フィリピン国家警察のデラローサ長官は、フィリピン南部に拠点を置くイスラム系武装組織である「マウテグループ」などが関与した可能性を指摘している。

また、フィリピンのドゥテルテ大統領の身辺警護に当たる警護隊によると、南部ミンダナオ島のマラウィ市で大統領の訪問に備えて現地入りした警護の先遣隊の車両が走行中、爆発物が破裂し、隊員と軍人計9人が負傷するという事件が発生した。

大統領は不在だったことから無事であったが被害が出ている。

上述したように、マニラの米国大使館付近でゴミ箱に入った爆弾が発見され、9月に南部ダバオ市で起きたテロ事件で使われたものとも似ていたことから、当局が関連を調べている。

ダバオでのテロ事件を巡っては、イスラム過激派組織「IS」に忠誠を誓ったとされる新興の過激派「マウテグループ」メンバーが逮捕されていた。

ドゥテルテ政権はイスラム過激派の掃討作戦を強化しており、その報復との見方が出ている。

フィリピン自体の治安の問題、そして、フィリピン国内での反米意識などを意識しつつ、今後の動向をフォローしたい。

3. インドネシア情勢について

インドネシア警察は、首都ジャカルタのミャンマー大使館や国会、警察本部、テレビ局などを狙って爆弾を準備したなどとして、3人の男を逮捕している。

いずれも過激派組織ISを支持する地元組織に所属していると思われる。

インドネシアを含む東南アジア、南アジア各国では今のところ、なんとか未然に大きなテロを防いできていると言えるが、リスクは少しずつ高まってきているとも見られる。

今後の動向をフォローしたい。

4. インド情勢について

インド政府は今年8日に国内で流通する主要2紙幣を突然廃止したが、これに対する抗議デモが国内各地で行われている。

参加者は廃止撤回や旧紙幣の当面の使用容認を求めている。

モディ政権は、

「1,000ルピーと500ルピー札の廃止は、汚職や脱税で得た現金を自宅にため込む不正蓄財や、偽札の根絶などが狙いである。」

としているが、その効果は薄く、むしろ最大の狙いは野党が隠している不正な現金政治資金を使用させないようにしているのではないかの見方もある。

いずれにしても、インドでは現金決済が大半を占める国内商取引で深刻な現金不足が発生、混乱が広がっていることは否めない。

今後の動向をフォローしたい。

5. タイ情勢について

タイの国民立法議会は、特別会合を開き、10月13日に逝去されたプミポン国王の後継者としてワチラロンコン皇太子に即位を求めることを全会一致で決めた。

今後は、ポンペット議長が近く皇太子に謁見して即位を要請する模様である。

皇太子が受諾することはほぼ確実であり、新国王（チャクリ朝ラマ10世）となる。

これにより、タイの政治の民政移管が早まるのか否かなども含め注視したい。

6. ベトナム情勢について

ベトナムのグエン・スアン・フック首相は、「テト」と呼ばれるベトナムの旧正月の連休（来年1月26日～2月1日）を前に、全国の公務員に対して、首相自身を含む上司への贈り物や上司宅への訪問を禁止した。

深刻な問題となっている汚職への対策の一環と見られている。

中国本土同様、不正腐敗の払拭が必要となっているベトナムの現状が垣間見られるニュースとして注目しておきたい。

【韓国】

—今週の韓国—

韓国政府・統計庁が発表した「2015年企業活動調査」（速報）によると、企業の売上高が減少する一方、純利益は増えるという「不況型黒字」の傾向が強まったとコメントされている。

この報告書の内容を確認すると、2015年基準で見た、フルタイムの従業員が50人以上で資本金3億ウォン以上の企業1万2,181社（但し、金融保険業を除く）の合計売上高は前年対比3.2%減の2,159億ウォンとなっている。

これは、当該調査開始以来初の減少となった2014年に続き、2年連続の減少となったことを意味する。

2015年の企業1社当たりの平均売上高も3.6%減の1,773億ウォンとなっている。

しかし、税引き前利益は16.0%増の109兆ウォンとなっている。

企画財政部は、こうした背景について、

「景気が悪く、企業が人件費を含む様々な費用を減らしたと見られる。」

とコメントしており、企業はコストと投資を減らせば、短期的に利益率を高められるかもしれないが、長期的には競争力が低下し、こうした不況型黒字が景気低迷に繋がり、悪循環に拡大しかねないと言った見方も韓国国内では出ている。

筆者も全く同感であり、そして、

「日本も韓国と類似した状況にある。」

とも考えている。

しかし、韓国は日本よりも早くこうした状況が雇用の悪化を一気に進めてしまい、その結果また、社会不安になる可能性も高まると考えている。

今後の動向をフォローしたい。

—今週のニュース項目（見出し）—

1. 百貨店販売について
2. 北朝鮮情勢について
3. 個人負債について
4. 消費者心理について
5. 三星電子、業況について
6. 国政状況について
7. 輸出回復見通しについて
8. 10月の訪韓旅行客数について
9. 産業活動状況について
10. 世亜鉄鋼、米国ビジネスについて

—今週のニュース—

1. 百貨店販売について

韓国の百貨店の販売額(売上高)が前年対比約6%拡大し、約31兆ウォンに上る見通しとなり、これにより、初めて30兆ウォンを超えることになる。

昨年後半から現代百貨店と新世界百貨店が積極的な店舗拡充に転じ、店舗数と営業面積の増加が売上高の増大に繋がったと見られている。

今後の動向をフォローしたい。

2. 北朝鮮情勢について

9月の北朝鮮による5度目の核実験を受け、国連安全保障理事会は11月30日午前、北朝鮮への制裁を強化する決議を全会一致で採択した。

北朝鮮が年1千億円以上を稼いでいる石炭輸出を半分以下に減らすよう上限を設けるなど、核やミサイル開発の資金源を断つ狙いを持つものと見られ、これに中国本土も賛成している。

北朝鮮の反応などを見守りたい。

尚、日韓両国政府はこの国連による制裁の他に、独自の北朝鮮制裁策を打ち出してくるものと見られている点も付記しておきたい。

3. 個人負債について

韓国の国策系研究機関である韓国開発研究院(KDI)が発表した報告書によると、2015年に2014年よりも家計債務が増えた世帯は全体の29%で、平均4,470万ウォンの増加となっていると報告されている。

家計債務が増えた世帯の平均債務額は2014年初めの6,600万ウォンから2015年初めには1億1,000万ウォンに膨らんでいるのである。

個人負債増加の問題は韓国経済の一つの懸念材料として、更に格差の問題を意識した社会問題にも繋がる可能性があるものとして、注視したい。

4. 消費者心理について

中央銀行である韓国銀行が発表した「11月消費者動向調査結果」によると、韓国の11月の消費者心理指数（CCSI）は95.8で、10月に比べて6.1ポイント下がっている。

また、これは世界金融危機直後の2009年4月の94.2以来の最低値でもある。

韓国開発研究院マクロ金融経済研究部は、こうした状況に対して、「景気が低迷を続けているという認識はこれまでもあったが、『崔順実ゲート』が追い打ちをかけた。」

と分析しており、筆者も同感である。

そして更に言えば、現在の消費者心理の冷え込みは必然と言えよう。

但し、韓国の消費は、事態が反転すると急回復する可能性がこれまでの動きから見るとあり、その可能性は意識しておきたい。

5. 三星電子、業況について

台湾の市場調査企業であるDRAMエクステンジは、「韓国の三星電子は本年7～9月期のモバイルDRAM市場における市場占有率（売上高基準）が64.5%で1位になった。」

と発表している。

これは本年4～6月期に比べて3ポイントのアップであり、モバイルDRAM市場の集計を別途に開始して以降、過去最高値となっている。

一方、2位のSKハイニックスは市場占有率22.8%で、4～6月期に比べて小幅ダウンしている。

尚、韓国企業のフロントでの市場占有率の高さはこのように際立つが、製造装置、一部部品などについては日本企業を含む外国系企業の支えがあつてのことであり、そうした点を含めての市場占有率として見ておきたい。

6. 国政状況について

韓国の金・元国会議長ら議長、首相などの経験者十数人は、11月27日に、朴大統領が来年4月までに辞任することなどを求める提言を発表した。

筆者は、権限が強い韓国の大統領制にあつて朴大統領が簡単に辞任するとは思えなかったが、毎週末に大規模な抗議集会が開かれ、検察の捜査が続くなか、四面楚歌、そして見方を代えて少しショッキングな表現を使えば、言葉とデモによる集団リンチのような状況の中で、さすがの大統領もとうとう事実上の辞意を表明する事態となった。

即ち、朴大統領は国民向けの談話を発表し、任期途中で辞任する意向を表明したのである。

但し、具体的な日程等はまだ不透明である。

しかし、韓国の朴政権の与党・セヌリ党の鄭院内代表は、朴大統領が提案した任期途中での退陣を受け入れ、

「4月に大統領が退陣し、6月に大統領選を実施する」

と言う案で野党と協議する方針を示している点、留意しておきたい。

今後の動向をフォローしたい。

7. 輸出回復見通しについて

韓国貿易協会・国際貿易研究院は、韓国の輸出企業で輸出回復時期が来年下半年以降にずれ込むと考えている企業が10社のうち8社に上るとする調査結果をまとめた。

今回の調査は輸出企業1,125社を対象に行われたもので、現在の輸出不振からの回復時期について、来年前半以前という回答は22.5%（年内1.5%、来年前半21.0%）となっている。

一方、来年後半、2～3年後はいずれも28.2%、「回復自体が困難」との回答も21.0%に達したと報告されている。

韓国の輸出は昨年1月から減少を示し、8月を除けば、21カ月連続でマイナスを記録している。

今回の調査では、地域別で対米輸出の回復が難しいとの回答（32.9%）が最も多く、トランプ米次期大統領の保護貿易主義に対する懸念が大きいと見られる。

輸出企業が最も懸念しているのは、米国の利上げと為替変動など国際金融市場の不安（34%）で、原油価格・原材料価格の変動（28%）、中国本土の景気低迷（14%）が続いている。

今後の動向をフォローしたい。

8. 10月の訪韓旅行客数について

韓国政府・国土交通部が発表した本年10月の航空旅客数は前年同月対比9.7%増の約915万人となっている。

国土交通部は、原油価格の下落やLCCの路線拡大、紅葉見物の観光客、訪韓外国人の増加などの影響で11月も旅客数の増加傾向は続くと予想している。

しかし、一方で世界経済の成長鈍化や米国の利上げの可能性など不確実性が高まっていることがマイナス要因として作用する恐れがあるともコメントしている。

今後の動向をフォローしたい。

9. 産業活動状況について

韓国政府・統計庁が発表した産業活動動向によると、本年10月の産業生産が2カ月連続で減少し、製造業の稼働率が通貨危機当時の水準まで低下している。

産業生産は鉱工業、サービス業ともに不振で、前月を0.4%下回った。

産業生産は年初から7～8月はほぼ横ばいだったが、9月（0.8%減）とマイナスに転じ、昨年10～11月以来初めて2カ月連続の減少となった。

鉱工業生産は自動車（4.6%増）、半導体（3.8%増）などが増えた半面、通信・放送設備（18.1%減）、一次金属（4.0%減）などの減少で、全体として1.7%減となっている。

今後の動向をフォローしたい。

10. 世亜鉄鋼、米国ビジネスについて

韓国の鋼管最大手である世亜製鋼は、米国の油井用鋼管メーカー2社を買収すると発表している。

同社は、原油・天然ガスの採掘に使用される高強度鋼管を製造する企業を買収することとなり、その買収額は約1億米ドルと見られている。

世亜製鋼が米国に生産拠点を確保したのは初めてであり、今回の買収を通じて、韓国の鋼管メー

カーとしては初めて、米国で生産から後処理工程まで、鋼管の一貫生産体制を整えるビジネスを行うことになる。

今後の動向をフォローしたい。

【トピックス】

私はお酒がほとんど飲めません。

お酒を飲んでもあまり美味しくありません。

仲間たちからは、「人生の喜びの半分は失っているな。」とからかわれもしますが、どうしてもお酒は飲みにくいです。

しかし、こうした中、何故か、ウキスキーは飲めるので、どうしてもと言われると、ウキスキーをお相伴したりします。

そして、実はもう一つ、私が飲める、好きなお酒があるのですが、それは、「シェリー酒」であります。

先日、ふとそんな話を友人に話したところ、シェリー酒のオリジンは、「スペインのヘレス」であると言われました。

彼もシェリー酒好きからか、このヘレスの話をしてくれましたが、ヘレス、正式名称はヘレス・デ・ラ・フロンテーラと言うそうで、スペイン南部の都市、スペイン・アンダルシア州カディス県に属する豊かな街だそうです。

そして、後で私も調べましたところ、彼の言うとおりに、ヘレスは「シェリー酒（スペイン語でビーノ・デ・ヘレス、または単にヘレス）」で有名な街として、世界に知られていました。（私はヘレスという街の名前すら知りませんでした。）

また、この街はフラメンコでも有名であり、「私たちは生まれつき、フラメンコを知っている。」と言う人が多いほど、生活の中にもフラメンコは溶け込んでいるようであります。

フラメンコについては、フラメンコを踊る為のフラメンコ・シューズの名門店もこの街にはあり、フラメンコが文字通り、街を活気づけているようです。

友人曰く、ヘレスという名前はフェニキア語の「セレス」（Xeres）に由来し、そののちにローマ化された際は「ケレット」（Ceret）と呼ばれたそうです。

その後、地中海沿岸の歴史の流れを受けて、アンダルシアにはアフリカ側からイスラム勢力が入り、このヘレスもイスラムの支配下に入ります。

このイスラム支配期にはヘレスは「シェリシュ」と呼ばれ、経済的・軍事的に重要な街となったようです。

現在の旧市街と呼ばれる場所は、この時代の都市計画によって市壁や塔、通りが建設されたものだそうです。

その後、ヘレスは、アルフォンソ10世に征服され、カスティーリャ王国の支配下に入り、「フロンテーラ」と呼ばれますが、その名前は「国境」を意味するもので、キリスト教国とイスラム教国の「境」だったことに由来すると言われています。

そして、15世紀には、農業、商業、ワイン産業によって経済的・文化的に発展しました。

更に、アメリカ大陸発見とグラナダ征服は、セビリヤやカディスの港に近いヘレスに繁栄をもたらし、その繁栄も背景としながら、ヘレスではシェリー酒が世界的に有名になり多くの酒倉が生まれるほどになったそうです。

私が飲むことが出来るシェリー酒はこのような歴史の中で、ヘレスから生まれてきたことを友人

の解説から知りました。

尚、ヘレスは上述しましたように、現在の形のフラメンコの発祥地とされ、19世紀から20世紀にはこの町で多くのフラメンコ演奏家が生まれ、歌唱やギターによって名声を博したそうです。

そして、現在ではフラメンコ学校やフラメンコセンターが置かれています。

更にまた、ヘレス近郊には世界一ともされる「馬術学校」もあり、文化と歴史と伝統を持つ世界的な街・ヘレスという街を、シェリー酒のお陰で、初めて強く認識した次第であります。

[今週の“街角のお話”シリーズ]

本当に久しぶりに長野県飯田市を訪れる機会に恵まれました。

この地には多摩川精機や夏目光学など、日本を代表する「質の高い」経営力を誇る企業がある地であり、地元の金融機関である飯田信金が地域経済を底辺から支え、また、それを飯田市の市長、職員の方々が支える地域発展に産官学金連携がしっかりとなされている地域であります。

また、飯田音楽祭や飯田市博物館にある飯田市出身の芸術家・菱田春草の作品の展示などに触れるにつけ、「文化の高さ」も感じることもできる街です。

そして、南アルプスと中央アルプスに囲まれた自然は美しく、「天空の城」と名付けられた有名ホテル・「三宜亭」のお風呂から眺める飯田の盆地と山並みは澄んでいます。

歴史も古く、飯田長姫神社などの名跡もあります。

更には、歌舞伎座にきんつばを納めている老舗の和菓子屋さんなどもあります。

さて、そのような街の中で、今回は、飯田の名物豚肉を使った餃子のお店を見つけました。

見つけた場所は、「りんご並木商業施設」であります。

聞くと、この「並木横丁いこいこ」と名づけられた施設は飯田市が国の補助金なども獲得して作られた施設で、

「中心市街地に空き店舗を活用した新たな賑わいの空間を生む」

ことをコンセプトに2014年にオープンされたそうです。

また、サイトは飯田市で有名な「りんご並木」と「川本人形劇美術館」の間になります。

ここでは、出店希望のある事業者とりんご並木に隣接した空き店舗を結び付け、りんご並木周辺にあるまとまった空き店舗を再生されたそうで、飲食店、物販店などが、オープンされ、その中の一つに飯田餃子のお店がありました。

この施設のアピールポイントは、

「・中心市街地活性化基本計画に位置付けられている「りんご並木周辺商業施設等整備事業」の一環として、(株)飯田まちづくりカンパニーが実施している事業です。

・りんご並木周辺の回遊性を高め、中心市街地への来訪者の増加を見込んだ取組です。

・所有と使用の分離による空き店舗対策の取組であり、創業希望者を対象とした「まちなか空き店舗再生創業塾」の開催やチャレンジショップの取組など丁寧に段階を踏んで事業化してきており、全国に発信できる取組ともなっています。」

とのことで、文字通り、地域創生の典型的なプロジェクトになっていると思います。

そして、私が伺った信州飯田餃子のお店は市内で3店舗のバーを営むご主人が、餃子屋を立ち上げ、夜は二階で心安らぐ静かなバーも経営されているとのことでした。

私はお昼に伺いましたが、地元出身の二人の女性が料理を作って出し、またその日は、地元の高校生たちがそこで餃子丼をほおぼっていました。

そして、伺うと、こうした高校生たちは常連さんで、いつも元気良く、食事を終わると、この女

性の方二人に、

「有難う御座いました。ご馳走様になりました。」

ときちんと挨拶して出て行くようでこの日もそうした清々しい様子を私も見て、何か嬉しい気持ちになりました。

この女性の方お二人も、こっそりと、

「あの子たち、本当に気持ち良くて、お腹すいたと言ってお店に入ってくるとついついちょっと大盛りにしちゃうんですよ。」

とにこやかに語っていたのが印象的でした。

地域創生の一つの姿を見た気がしました。

[英語で一言]

ここでは、英語を母国語としない私が英語を母国語としない多くの人々にも伝わるように、短文、平易な英単語を使って、気になる言葉、出来事を、短歌のように数行で示していくことを毎週トライするものであります。

またまた拙いコーナーの開始ですが、お付き合いください。

Offer=申し入れ

ビジネスをする際には、ビジネスの相手に対して、価格などの様々なビジネス条件を申し入れすることが多々あります。

相手方がこれを受け入れれば基本的には当該ビジネスは成立します。

そうした意味で申し入れはビジネスの大切な要素となります。

例えば、

「石鹼50箱、1箱について2,500円と言う廉価でオファーします。

こうした廉価の申し入れは破産者の資産から大量に石鹼を買い取りましたことから出来るものがあります。

もし、この申し入れにご関心があれば、至急ご連絡ください。」

といった申し入れなどがなされます。

申し入れを受けた人がこれを引き受ければ取引成立しますが、場合によっては、申し入れを受けた人が、その申し入れに対して新たな申し入れをし返してくると、その申し入れのことをカウンターオファーと言います。

Offer=申し入れ

In our business field, there are many cases that a party would offer some business conditions such as price to his business counterpart(s).

In this case, if the counterpart(s) would accept the offer, the deal itself would complete.

In this sense, offer is one of the important factors of the business.

I will show you an example of business offer.

“We shall be pleased to supply you with 50 boxes of soap at the low price of J¥2,500 per box,

which we are able to offer you in consequence of our having bought a large quantity of same from a bankrupt stock.

If this offering is of interest to you, please advise us promptly.”

The counterpart(s) would accept the offer, then deal done!!

But in some case, the counterpart(s) may offer back to the original party with asking some changes of condition(s).

And such “offer back” is called as “Counter Offer”

〔主要経済指標〕

1. 対米ドル為替相場

韓国：1米ドル／ 1, 171. 79 (前週対比；2. 98)
台湾：1米ドル／31. 91ニュー台湾ドル (前週対比－0. 07)
日本：1米ドル／114. 05円 (前週対比－1. 00)
中国本土：1米ドル／6. 8839人民元 (前週対比；0. 0331)

2. 株式動向

韓国 (ソウル総合指数)：1, 970. 61 (前週対比－3. 85)
台湾 (台北加権指数)：9, 189. 49 (前週対比＋30. 42)
日本 (日経平均指数)：18, 426. 08 (前週対比＋44. 86)
中国本土 (上海B)：3, 273. 309 (前週対比＋11. 371)

以上
草の根の辻説法師を目指す

真田幸光